

## 第10回「もっと一緒に本番を！」

鴨台盆踊りの思い出を聞いてみました！

大正大学の学生が地域の方と活動をしていくために必要なことは何かを探る連載。  
第10回は、鼓友に所属する小学生6年生の根本大輝さん、藤井杏朱さん、池田光織さんに大正大生で太鼓を叩いた時の印象についてお話を聞きました。

お話しいただいた人



根本大輝さん

ゲーム（フォートナイト）をすることが大好きな小学6年生。



藤井杏朱さん

アニメを見るのが大好きな小学6年生。



池田光織さん

色々な音楽を聴くのが大好きな小学6年生。

インタビュアー



石橋郁乃

心理社会学部臨床心理学科4年。色々な地域のビールを飲むのが大好き。

## 1. 受け継がれる鼓友魂



本日は練習の後にも関わらずインタビューを受けてくださり、ありがとうございます。最初に、皆さんが太鼓を始めたきっかけを教えてください。



僕が太鼓を始めたのは、姉が鼓友に入っていたからです。練習を近くで見ている、「楽しそうだから僕もやりたい!」と言って始めました。



何歳から太鼓を始めたのですか？



幼稚園の年中かな？ そのときから始めました。



私たちは同じ年で、今は小学6年生です。



そうだったのですね！ みなさん結構長い間太鼓を叩いているんですね。



そうですね、5、6歳から鼓友で太鼓を教えてもらい始めたので長いと思います。



藤井さんが太鼓を始めたきっかけも教えてくださいませんか？



私も、姉が鼓友に入っていて「かっこいいな」と思って始めました。



どんなところがかっこいいと思ったのですか？



練習している姿や、舞台上で叩いている姿を近くで見ていると、姉の上の人達も凄く上手でかっこよかったから、**自分もこうなりたいな**と思って始めました。



目標があって何かを始めるって凄く素敵だなと思います。  
池田さんが太鼓を始めたきっかけも教えてください。



父が副会長をしていて前から活動を見ていたというのと、兄も太鼓を叩いていたので、最初は何となくで始めました。祖父も太鼓をやっていたんです。



**家族で太鼓をやっているんですね！**



インタビューの様子



石橋

鼓友さんで、みなさんはどのような活動を行っているのですか？



根本さん

町のお祭りなどに参加して、太鼓を叩くのが主な活動内容です。そこでちゃんと披露できるように練習をしています。



石橋

お祭りに参加するということは、夏は特に忙しいのでは？



池田さん

コロナ禍で活動ができなくなる前までは、結構忙しかったです。



藤井さん

7月、8月は特に忙しいですね。ほぼ毎日太鼓叩いていました。



石橋

毎日！？やはり、夏の期間は忙しいんですね。その中に、大正大学の鴨台盆踊りも含まれているかと思うのですが、印象に残っていることはありますか？



根本さん

「ダンシングヒーロー」で、大正大学のお兄さんたちが凄い盛り上がっていたのが印象に残っています。



池田さん

印象に残ってる！ 凄い面白かったなと今でも覚えています。



石橋

自分も輪に入って一緒に踊りたいと思いましたか？



根本さん

踊りたい！ というのはないですけど、その場で太鼓を叩きたいとは思いません。



石橋

叩いていて、楽しかった曲はありますか？



藤井さん

「365日の紙飛行機」は、大正大学で太鼓を叩いて印象に残っています。後は、大江戸東京音頭が一番楽しい！



大江戸東京音頭は好きな人多いですよね。



みんなで太鼓を叩くから楽しいんです。



全ての曲をみんなで叩くのではなくて、曲目によって叩く人数は決まっているのですか？



組み太鼓といってやぐらの上で叩く人と、一列になって下で叩く人に分かれています。基本大人がやぐらの上で叩いています。



私が印象に残っている曲は「恋するフォーチュンクッキー」です。踊りが可愛いので好きです。



みなさんは、色々なお祭りに参加しているから大学生の前で太鼓を叩くというのはあまり緊張しないのですか？



毎回緊張しています。



一番緊張したのは、**昨年のオンライン開催の鴨台盆踊りの時にYouTubeで流れると言われたとき**です。



演奏は本番一回で撮影したのですか？



リハーサルを1回だけして、撮影しました。失敗ができないので緊張しました。



周りを見たら、みんな緊張していたので余計緊張しました。



私もみなさんの演奏している姿を、YouTube拝見させていただいたのですが、堂々としていて緊張しているなんて全く気がつきませんでしたよ。



第9回鴨台盆踊りの様子

## 2. 練習は裏切らない



鴨台盆踊りで太鼓を叩く以外で、普段大正大学に来たり学生と関わったりすることはありますか？



南門の広場でくじ引きとかやっている、お祭りのような市場には行ったことがあります。関わるのがあまりないので、**もっとたくさんの活動を一緒にやりたいです。**



教えるのは難しいし緊張するけど、太鼓を一緒に叩きたいです。



太鼓はすぐに覚えられるので、楽しいと思います。



みなさんは、どれぐらいの期間で1曲覚えられるのですか？



だいたい10回叩けば覚えられますが、会長に認めてもらうにはもっと練習しないとイケないです。



ひとりひとりが覚えても、揃わないと意味がないので難しいです。



練習は結構大変ですか？



楽しいです！



お話ししながら練習するのが楽しいんです。私たちは同じ学校に通っているけど、他の学校に通っている子たちもいるので。



今年もオンラインでの開催ですが、これからも太鼓を続けていきますか？



鴨台盆踊りが開催し続ける限り、ずっと参加して太鼓を叩きたいですし、鼓童さんと鼓鴨さんともっと本番で共演したいです。



中学校に入学してもずっと太鼓を続けたいです。

鼓友に所属し、幼稚園の頃から太鼓を続けている小学生にインタビューをしましたが、大正大学生として地域の子どもたちにお話を聞くのはとても貴重な体験でした。盆踊り本番でしか関わることがないからこそ、「もっとたくさんの活動を一緒にしたい」という言葉を言っていたのはとても嬉しかったです。地域の人を呼んでお祭りを開催することができない今だからこそ、意識的に地域との関わりを継続する必要があると思いました。

記事 心理社会学部臨床心理学科4年 石橋郁乃  
お話を聞いた日 2021年7月9日